

ここが聞きたい



# 幸田町農業の展望は

## 都市周辺 まだ魅力十分

況はどのようなところなのか。

している。

たい。

**環境経済部長** 政府が所得保障する農家は、13件である。所得は、9割を割り込むことはないという予想を

後継者は、高収益の上がる生産部会で就農している。農地制度は、2年前から法人の農業参入が始まった。今後、所有権と利用制度は、国の政策を見守って対応し

耕作放棄地は、17・3ヘクタールで、主に深溝地区の筆柿団地などである。

### 団員確保のPRに努める

### 消防団の活性化を図れ

**消防次長** 消防の広域化は、人口30万人規模で推進計画が定められた。県では、平成20年3月末までに計画が定まる。幸田町は、その枠組みが決まってから動く。

地域の消防団は、広域の対象にならない。消防団員確保策は、活動状況及び勧誘のパンフレットを作成し、区長から回覧をする。協力事業所には、表示板の掲示を考えている。

**問** 平成18年6月に行なわれた、消防組織法の一部改正に伴い、県では平成19年度中における「消防広域化推進計画」の策定にむけた取り組みがなされている。消防団は消防本部が広域化になった場合どのような組織体制になるか。近年消防団への希望者が少なく、各分団も団員確保に苦労している。町としてはどのような対策を考えているか。

今が最盛期の特産いちご



鈴木修一 議員

**問** 品目横断的経営安定対策により、稲作農家は所得が安定するはずであったが米価の下落を受け、農政への不信が高まっている。町内の稲作農家の現況を問う。町内の農家の高齢化により専業農家の減少が進んでいる。

後継者を育てる対策を問う。

農水省は農地制度の見直しを考えている。農家経営に問題はないのか。

耕作放棄地は全国で58万ヘクタールある。町内の現



内田 等 議員

# 中学校卒業まで医療費無料実施を 本年4月から無料化に



都市化の進む役場周辺

**問** 町長は、第3回定例会決算特別委員会で平成20年度から子どもの医療費を中学校卒業まで拡大すると表明された。予算編成に当たり幾つかの対策を問う。

(1) 中学校卒業までの医療費無料化の実施は。

(2) 住宅の耐震化のPRと事業推進は。

(3) ごみの減量化対策は。

(4) 福祉対策、保育園の民営化対策は。

(5) 農業集落排水事業の今後の対策は。

**町長** (1) 中学校卒業まで平成20年度予算で対応する。

(2) 耐震改修自体は遅々として進んでいない。区長等を通じて普及PRに努める。

(3) さらに分別による量の抑制、農地等に還元するのも大変有効な手立である。

(4) 後期高齢者医療は、広域連合で対応。保育園の民営化は、保護者等での理解をいただくことが大事

**20年度当初  
予算編成の  
基本は**

(5) 施設の老朽化も進んでおり、公共下水道への接続などを含め検討したいのである。

**問** 町長就任10年目の節目の年である。今本町は県下でも有数の財政力豊かな町として、発展を続けている。今後の財政運営は、今以上に慎重且つ信念を持ってあたなくてはいけない。大型事業が山積みしているが、予算対応の考えと対策は。

(1) 大型事業は、どのような考え方で優先順位を選択されるのか。

(2) 水道事業の第1次拡張計画が、現状に合っていないが対策は。

(3) 新駅について現状の進捗状況は。

**財政の  
総動員をした  
上で対応**

**町長** (1) 幸田駅前・新駅建設は極めて大事である。新駅は、3年から数年が一つのめどである。

(2) 2次拡張計画は必要であるが、個人負担にもかわるので、よく検討する。

(3) 昨年3月に覚書きを結び、今年度中にその負担が示される。対応を報告し財政状況を明らかにしたい。幸田町の将来がかわる極めて大事な問題であるので建設に向け努力していく。

# 地球温暖化の防止対策を

## 町をあげて取り組む



水野千代子 議員



買物はマイバックを持参

**問** 日本が、京都議定書で義務付けられている「温室効果ガス排出量、マイナス6%」の目標達成には、各企業・行政・家庭での取り組みが必要であることから以下を問う。

(1) 県は、レジ袋の有料化に向け、「レジ袋削減取り組み制度」を導入するが、町の進め方は。 (2) ごみの減量、資源節約のために、職員が一カ月間一斉にレジ袋を辞退して、マイバック普及運動を。

(3) 学校・公共施設に壁面緑化を。

(4) 環境家計簿を作成し、家庭から出る、二酸化炭素排出量削減の呼びかけを。

**環境経済部長** (1) ごみゼロ社会推進愛知県民会議で、レジ袋3年間で50%削減を決め、スーパー、コンビニ等に参加を呼びかけている。町として全面的に支援する。

(2) 年間1100万枚のレジ袋がごみとなっている。環境課を先頭に一斉にマイバック啓発運動をおこなっていく。

(3) 平成20年度から実現可能な施設から実施する。

(4) 環境家計簿は今後の課題とし、家庭から出る二酸化炭素削減は、広報紙ホームページで啓発していく。

ホームページに広告事業を

これからの検討

**問** 自治体の中には、今までの歳出削減だけの行政改革から、一歩踏み込んだ、自治体自らが稼ぐ、広告事業を取り入れ、収入増や経費削減を図っている。

(1) 「ホームページ」や「広報こうた」に、民間企業などの広告を掲載し、税外収入の確保を。

(2) 窓口に設置してある封筒や、住民に送付する封筒などに広告を入れることで、広告主から、封筒を無償で提供してもらい、経費削減を。

**総務部長**

(1) ホームページのアクセス件数は月1万3000件ある。事業者がホームページを開設していれば効果があり、地元経済の活性化にも結びつくので、検討していく。広報紙は問題が多くあり難しい。

(2) 封筒の年間発行数は、約8000枚であり全体数が少ない。事業者との契約も成り立たないと考えることから、この広告ビジネスは少し時間をかけ検討する。



酒向弘康 議員

# 『こうた健康の日』の制定を

## 日にちを決め制定する



着々と工事が進む(仮)深溝運動場

**問** 今年度は、平成17年度から22年度までの6年間の「健康こうた21計画」の中間評価・計画見直しの年であり、以下の進捗状況を問う。

- (1) 子どもの健康  
朝食を欠食する小学生は0.5%、中学生は3.6%だが、現状と対策は。
- (2) 働きざかりの人の健康  
「区の行事に参加する人」の目標値40%以上・運動不足と感じている人70%以上に対し、現状と施策。
- (3) 熟年の人の健康  
高齢になるに従い生きがいや趣味を持てる施策の現状。
- (4) 健康を考える機会として「こうた健康の日」の制定を。

**健康福祉部長** (1) 小学生は2人から4人に増え、中学生は12人から11人に

- (2) 「区の行事に参加」は33%、「運動不足」は80%である。目標達成のため、内容の充実を図っていく。
- (3) 生きがいや趣味のある人の割合は、60歳代で74%、70歳代で79%である。関係機関の意見も聞き、中間評価を見直していく。
- (4) 明確に日にちを指定し、「こうた健康の日」を制定する。

### 健康の道・公園・グラウンドの整備を

- 問** 住民の健康維持・体力向上のための、公園・グラウンドなどの整備状況を問う。
- (1) 公園の健康遊具の設置状況と、子ども・障害者・高齢者を考慮したユニバーサルデザインの公園づくりと、遊具設置計画。
  - (2) 健康の道・ウォーキングコースの整備計画。

### 美観保持に努め整備していく

- (3) 深溝運動場の建設状況と、整備にあわせ、「天然温泉」の再利用の検討
  - (4) 深溝運動場を「深溝健康公園グラウンド」など健康をアピールする名称に。
- 建設部長** (1) 都市公園は14カ所で、大半が子どもの遊具である。健康遊具は中央公園に2基設置。今後の整備は検討していく。
- 健康福祉部長** (2) 健康の道、ウォーキングコースは、美観保持に努め整備する。
- 環境経済部長** (3) 散策道路、多目的広場、わんぱく広場、東屋など、今年度末に完成予定。温泉は、民間施設のため検討する。
- 町長** (4) 南部の拠点という意味を持つ名前にした

# 『子どもの権利条例』は子どものもの

## 子どもたちの力で条例づくり



丸山千代子 議員

**問** すべての子どもが、幸せに育つことができるようにと願いをこめ「子どもの権利条約」が生まれ、日本は1994年に批准した。幸田町でも「おひまわり」子どもの権利条例「づくり」に取り組み方向である。子どもへの犯罪が多発し、地域社会の安心・安全が求められていることから、子どもに優しいまちづくりをすすめるべきである。子どもの人格の全面的発達を、子どもの基本的な権利として保障し、意見の尊重と参加・スケジューリングを問う。

**健康福祉部長** 条例の趣旨は、子ども自身が参加し意見を述べることである。今年度は、庁舎内の準備会議を開催し、全国シンポジウムにも参加した。平成20年度の予算では、



みんなでいただきます (幸田小学校)

策定委員会の設置や子どもアンケート、会議の開催等を予算化する。大人が勝手につくった条例でなく、子どもと意見を

交わしながらよいものをつくっていきたい。平成22年度には施行となるよう条例制定を考えていく。

**自前の炊飯設備でおいしいご飯**

**委託炊飯方式でいく**

**問** 学校給食センターの改築工事は、総事業費約14億円、5000食/日の調理能力が計画されているが、炊飯設備が盛り込まれていない。

現在の給食センターは、手狭のため岡崎製パンに委託しているが、「改築にあわせ炊飯設備を設置する」と、議会でも答弁してきた。食育でも、子どもたちが豊かに育つためにも重要である。経費削減のためとして、安易に委託するのではなく自前の炊飯設備を設置すべきではないか。災害対策にも対応できる炊飯設備で充実を。

**教育部長** 炊飯設備は、検討の段階から議論した。調理員を増やし、設備費および配送を含めると約1億円の事業費増となる。給食センター職員の意見

岡崎市・蒲郡市の給食センター視察、現在のスタッフの状況、時間内の作業行程から導入にはいたらなかった。現在、委託炊飯方式である。内容は、白米、五目ご飯、赤飯、カレーご飯などバラエティに富んだ主食を提供している。町内産の小麦粉(うどん)使用も実施の方向である。



伊藤宗次 議員

# 消防広域化でなく消防力向上を

## 広域化で消防力の充足率を達成

**問** 消防組織法改正で、市町村消防の広域化基本指針により、愛知県は県下37消防本部を11に再編する計画を示したが町長の見解は。幸田町の消防力は49%と極めて低い。全国平均でも60%台。消防の広域化は、低い消防力の固定化だ。広域化のメリット、デメリットは。

岡崎市長は市議会で「幸田町との広域化は、幸田町との合併が前提だ」と答弁したが、自治権侵害である。町長の見解は。

広域化ではなく、幸田町の消防力向上こそ急務だ。

**町長** 広域的な大規模災害に備えるため、消防広域化には賛成である。

岡崎市との枠組みは、岡崎額田広域市町村圏で、病院・救急医療に7割も依存しており自然な流れである。

**消防次長** 災害などがおきた時の出動体制で、車両や人員の確保ができる。

**町長** 新聞報道で踏みこんだ発言があり、極めて不快な思いはしたが言及する問題ではない。

**消防次長** 消防の充足率を

達成するには、約10人位の職員確保が必要である。消防10ヵ年整備計画で、人員や機械器具等の更新をすすめていきたい。

### 私的契約児 保育料 なぜ2割高い

**問** 資本金10億円以上の大企業に、地方税法で定める超過課税を適用すれば、3億円以上の財源が確保できる。なぜ実施しない。

私的契約児の保育料が、契約児保育料より、なぜ2割も高いのか。

集団保育で心の発達をめざす保育に、私的契約児も契約児もない。

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育て支援施策の充実で契約児と同額にすべきだ。

身体障害者の軽自動車税減免申請は、初回のみとし、次年度以降は、自動継続に改善すべきだ。

### 保育料は 同額にする 方向で検討

**町長** 愛知県下で超過課税は11市町村が実施し、近隣は標準課税である。超過課税による税収はほしいが、企業誘致をすすめるうで、進出の妨げとなり支障をきたす懸念もあり、まだ検討課題としたい。保育料は同じであったいいと思うので、同額にする方向で検討する。

**総務部長** 各市町の減免申請の状況を調査し、簡略な手続き方法をとり入れる。窓口に来なくても申請できるように配慮する。



消防出初め式

# 委員会レポート

総務

## 坂崎京ヶ峯に 住宅開発はじまる

11月16日協議会開催

民間事業で、環境、景観に配慮した緑地を確保する。

住宅は何戸か。

156区画予定している。

道路の安全面は図られる。

るか。

通学路を中心に、歩道を確保していく。

里山保全は守られるか。

緑を尊重した住宅形成である。

完成予定は。

平成21年度を予定している。



この一帯が住宅開発

須美工業団地に民間企業進出

何社を予定しているか。

自動車部品製造の6社である。

進入路の安全面は。

一方通行で、各工場への乗入れ道路を取り付ける。

大気汚染、悪臭問題は。

公害防止協定の中で、対応していく。

工場の操業開始は。

平成20年6月より、随時、開始予定である。

葛巻町、山形県寒河江市、鶴岡市、天童市を視察した。

10月10日～12日、岩手県

葛巻町、山形県寒河江市、鶴岡市、天童市を視察した。

葛巻町

平成11年に「新エネルギーの町」宣言を行い、風力、太陽光、畜糞バイオマスなどクリーンでリサイクル可能な新エネルギー導入を積極的に取り入れている。

寒河江市

市民協働で、歴史・文化の融合を目指した魅力あるまちづくりを進めている。

鶴岡市

消防事務組合を解散し、平成19年4月より単独消防本部として発足している。

天童市

18の公共施設で指定管理者制度を導入し、利用者サービスに取り組んでいる。

5年間の集中改革プランを策定し、数値目標を設定一步踏み込んだ事務事業をおこなっている。

天童市

18の公共施設で指定管理者制度を導入し、利用者サービスに取り組んでいる。

5年間の集中改革プランを策定し、数値目標を設定一步踏み込んだ事務事業をおこなっている。

天童市

18の公共施設で指定管理者制度を導入し、利用者サービスに取り組んでいる。



風力発電を視察

産業建設

六栗雇用促進住宅の  
処分早まる

11月14日協議会開催

今まで国は、全国の雇用促進住宅を、30年間をめどに譲渡・廃止するとしていたが、平成19年3月に今後15年間で処分する方針で期

間を短縮。

自治体が購入を希望した時は、10年以上公的住宅として堅持することが条件。

**Q** 更地になったら買ったということだが、具体的な利用計画があるのか。

**A** 公的な活用をしたいがまだ何にするか考えていない。

**Q** 今後10年以上公営住宅として利用し、更地にした場合の用地購入費などの試算はしたのか。

**A** 土地建物あわせて10億7000万円ほどと試算した。今購入した方が有利であるが、町営住宅として維持する考えはない。

ふれあい農園拡張計画

**Q** 一区画30㎡では狭い。広い区画もつくってはどうか。

**A** 利用者が管理できる広さとしては適当と考える。



六栗雇用促進住宅

文教福祉

奨学金支給制度が  
はじまる

11月12日協議会開催

**Q** 制度の開始時期は。

**A** 平成20年4月1日。

**Q** 対象要件は。

**A** 保護者が町内に1年以上在住であること。  
・高等学校等に在学者。  
・勉学に励み、経済的な理由で修学困難な者。

**Q** 対象枠は。

**A** 約11名を予定する。

**Q** 奨学金の額、返還は。

**A** 一人月額5000円、返還は求めない。



パソコンの授業風景（幸田高等学校）

第3子の保育料が無料に

**Q** 対象となる児童・人数は。

**A** 18歳未満の児童が3人以上いる世帯の、3歳未満児が対象で、23人いる。

**Q** 第3子が幼稚園児や私的契約児は対象となるか。

**A** 保育所の定義に「保育に欠ける」の条件があるため、対象外となる。

**Q** 補助率は。

**A** 県が1/2、町が1/2である。



## 議会運営

### 議会運営の

### 活性化を

11月7日・8日、神奈川県寒川町と愛川町を視察した。

#### 寒川町

議員定数は21人で、8会派で構成されている。議会運営委員会は各会派より一人ずつ選出されている。

委員会は3常任委員会で正副議長も委員となっている。

質問方式は一括質問で回数は3回。質問時間は無制限である。

議員報酬33万9000円。政務調査費1人月額2万円。

#### 愛川町

議員定数18人で、5会派で構成されている。議会運営委員会は、委員9人で各会派より人数割りで選出されている。



愛川町で説明を受ける議会運営委員

2常任委員会で、正副議長も委員となっている。

一般質問は、初回は登壇し、2回目から自席で一問一答で行う。時間制限は発言・答弁を含め、1人60分

以内。

議員報酬34万円。政務調査費1人月額1万円。

寒川町・愛川町とも、今後一問一答、対面方式を検討していた。

## 総合開発

### 玄関口にふさわしい街づくりを

10月19日、北名古屋市と刈谷市を視察した。

#### 北名古屋

平成5年に地下鉄鶴舞線との相互乗り入れが開始され、西春駅の乗降客数は、一日約2万3500人。

駅前広場の未整備や老朽化した店舗や住宅が混在していることから、北名古屋市の玄関口にふさわしい街づくりを進めるため、西春駅西区画整理事業をおこなっていた。その後3回の事業計画の変更をおこない、都市基盤の整備、商業地や交通体系等の整備、居住環境の改善で、事業完成を目ざしていた。

#### 刈谷市

野田新町駅周辺は、土地区画整理事業により、新たな住宅が立ち並ぶとともに、鉄道利用者約29000人の利便性が計られていた。

線路で分断されていた、南北地域を結ぶ自由通路も整備されている。

- ・ 開業 平成19年3月18日
- ・ 駅舎橋上式、2面2線
- ・ エレベーター 橋上駅舎
- ・ 2基、自由通路2基
- ・ 事業費 駅舎22億5000万円、自由通路5億7000万円
- ・ 財源全て市単独費



開発が進む西春駅周辺

# 伊勢広域 リサイクルプラザ

## 安全安心環境対策

11月2日、伊勢広域環境組合リサイクルプラザを視察した。

### 伊勢市

伊勢広域環境組合は伊勢市・明和町・玉城町・度会町の4市町で組合を設立し、ゴミ処理施設・粗大ゴミ処理施設・リサイクルプラザの3施設が作られている。リサイクルプラザは総事業費7億6000万円で平成12年3月に完成した。



衣料品もリサイクル

リサイクルプラザでは、技術指導員による家具・自転車などの再生、再生品の展示コーナー・フリーマーケットなどをおこなっていた。住民を対象としては、廃棄物の再生などを促進し、資源の循環を図っていた。

## 議会広報

10月23日・24日、広島県神石高原町・坂町の議会広報編集を視察した。

### 神石高原町

議会の審議状況及び活動の事態などについて広く町民に周知を図るため、議会の独自性・自主性を貫き、編集を議員のみでおこなっていた。

議員活動全般にわたり「早く正確に、読みやすく」を目標に編集され、活発な議会の様子が紙面をとおして伝わる工夫がされていた。

### 坂町

議会クイズ、まちの声、子どもたちの目から見た議会、一般町民の意見、写真はできるだけ一般町民を掲載して、「町民に親しまれ、読みやすい広報紙」づくり

# 町民に親しまれる 広報紙を



親しまれる紙面づくりを視察

をされていた。

両町の広報紙を参考に「こうした議会だより」もよ

り多くの町民に親しまれる紙面づくりに努力していきたい。